

環境保健センター試験研究計画書

番号	R4-1	課題名	岡山県におけるPM2.5高濃度事象に関する研究					
期間	R4～6年度	担当部課室	環境科学部 大気科					
課題設定の背景	<p>1 政策上の位置付け 第3次晴れの国おかやま生き生きプランの重点施策である「水、大気、土壌などの保全対策の推進」及び岡山県環境基本計画に掲げる「PM2.5対策の推進」に資する。</p> <p>2 県民や社会のニーズの状況 PM2.5に係る岡山県の環境基準達成率は、全国的に見て低位で推移している。 また、児島湾干拓地周辺について、本庁環境部局では野焼きがPM2.5の上昇に影響を与えていると判断し、農業部局の協力を得ながら対策事業を進めているところであり、対策に不可欠な営農者等の理解の促進に資する科学的根拠を充実させてほしいとの行政ニーズもある。</p> <p>3 県が直接取り組む理由 県南部の複数の市町で環境基準の非達成が継続しているため、県として対策を行う必要がある。</p> <p>4 事業の緊要性 これまで県内のPM2.5の全体的な状況把握のための調査は行ってきたが、環境基準達成率の向上、ひいては安全・安心な生活環境の保全に向けた施策推進の一助とするためには、非達成が多い地域（児島湾干拓地周辺を除く。）における高濃度事象の要因を把握する必要がある。 また、児島湾干拓地周辺については、野焼きとPM2.5の関係により多くの営農者等から理解を得るための科学的根拠の充実が求められている。</p>							
	試験研究の概要	<p>1 目標 県内（児島湾干拓地周辺を除く。）でPM2.5が高濃度となる要因を明らかにし、また児島湾干拓地周辺については高濃度事象に係る知見を充実させ、環境基準達成率の改善に向けた県の施策推進の一助とする。</p> <p>2 実施内容 PM2.5の常時監視結果を整理し、高濃度となるより詳細な要因を推定する。 また、児島湾干拓地周辺では、高濃度事象の要因の一つである農業等に伴う野焼きが行われていることから、燃焼に由来する物質（レボグルコサン及びアルデヒド）を測定し、PM2.5との関係を解析する。</p> <p>3 技術の新規性・独創性 岡山県内のPM2.5高濃度事象に特化した研究はこれまで行われていない。</p> <p>4 実現可能性・難易度 実現可能性：中 難易度：高</p> <p>5 実施体制 0.7名</p>						
		成果の活用・発展性	<p>1 活用可能性 環境基準が達成できないことが多い県南部（児島湾干拓地周辺を除く。）における主要因が把握でき、それに応じた施策の実施につながる。児島湾干拓地周辺については、野焼きとPM2.5高濃度事象に関する知見が充実するため、営農者等へのより具体的な説明が可能となる。</p> <p>2 普及方策 年報掲載等</p> <p>3 成果の発展可能性 地域ごとの要因に応じた施策を講じることで、県民の生活環境の向上と環境基準達成率の改善につながる。</p>					
実施計画			実施内容	年度	R4	R5	R6	総事業費 (千円)
			PM2.5常時監視結果からの高濃度原因の解析		■			
		県南でのPM2.5分析		■	■			
	まとめ				■			
	計画事業費		150	150	150	450		
	一般財源		150	150	150	450		
	外部資金等		0	0	0	0		
人件費(常勤職員)		5,600	5,600	5,600	16,800			
総事業コスト		5,750	5,750	5,750	17,250			